

平成21年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 ナナオ
代表者 代表取締役社長 実盛 祥隆
(コード番号 6737)
問合せ先責任者 執行役員 経理部長 秋常 樹一郎
(TEL 076-275-4121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	75,000	5,000	5,000	3,000	134.40
今回発表予想(B)	75,000	6,800	6,900	4,200	188.16
増減額(B-A)	0	1,800	1,900	1,200	
増減率(%)	0.0	36.0	38.0	40.0	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	74,522	4,301	4,244	682	30.47

修正の理由

コンピュータ用モニターは、海外における流通在庫の調整が当第2四半期連結累計期間にはほぼ終了しましたが、本格的な需要の回復には至らず、販売は低調に推移しました。下期においても景気は先行き不透明な状況が続き、全体として、需要は低い水準に留まることが予想されます。

アミューズメント用モニターは、当市場は厳しい環境下にはありますが、当第2四半期連結累計期間において、新機種の販売が当初計画を上回って推移しました。下期においても計画どおり推移する見込みであり、通期での販売は当初計画を上回る見通しであります。

以上の状況から、通期の売上見通しにつきましては、コンピュータ用モニターの売上高は前期比13.9%減の36,200百万円、アミューズメント用モニターの売上高は同24.2%増の32,300百万円、その他の売上高は同0.4%増の6,500百万円を予想しており、全体としては、前回公表時(平成21年5月13日)と同額の75,000百万円を予想しております。

費用面におきましては、研究開発については将来に向けた投資を継続いたしますが、各業務プロセスの効率・生産性の向上を推し進め、販売費及び一般管理費では前期比9.3%減の13,800百万円を見込んでおります。

以上の見通しを踏まえ、前回公表した平成22年3月期の業績予想を修正し、連結売上高は前期比0.6%増の75,000百万円、営業利益は同58.1%増の6,800百万円、経常利益は同62.6%増の6,900百万円、当期純利益は同515.8%増の4,200百万円を予想しております。

なお、当該予想は現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おき下さい。

以 上